福県医発第２１０６号（総）
平成 １８ 年２ 月２４日

第1439号 受 18.2.27 付 小郡三井医師会

各 医 師 会 長　殿

福 岡 県 医 師 会
会 長　竹 嶋 康 弘

「第２回　日本の医療に関する国民意識調査」の実施について

標記調査について、日本医師会長より別紙のとおり協力方依頼がありました。

厚生労働省の医療改革大綱が示され、多岐にわたる分野で見直しが進められる方向となっています。今後の医療全般のあり方については、受療側と提供側の要望をはっきりと提示していくことが必要で、そのためのデータが必要となります。

本調査は、平成 14 年度に実施した「第１回医療に関する国民意識調査」を継続するもので、全国レベルでの国民調査、患者調査、医師調査によって医療に関する意識やニーズを広く収集し、医療制度の議論に資するデータを日本医師会に蓄積することを目的としております。

これらのうち医師調査については、日医会員を全国から 3,000 名無作為に選ばせていただき、添付の調査票で調査が実施されます。

つきましては、本会においても第３３回全理事会(H18. 2 . 23)で協議の結果、これに協力することにいたしましたので、貴会内の会員の先生方へ調査票が送付されました折には、ご協力が得られますよう貴職のご高配方よろしくお願い申し上げます。

小郡三井医師会より　　**担当理事　廣瀬真恵**

会長 2006.02.27 15:15:32 +09'00'

日医発978号（総研75）
平成18年2月17日

都道府県医師会長　殿

日本医師会長
植松治雄

「第2回　日本の医療に関する国民意識調査」ご協力のお願い

日頃より、日本医師会の諸々の活動へのご理解とご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、医療改革大綱では多岐にわたる分野で見直しが進められる方向となっておりますが、今後の医療全般のあり方については、我々が受療側と提供側の要望をはっきりと提示していくことが必要です。本調査は、平成14年度に実施した「第1回 医療に関する国民意識調査」を継続して、全国レベルでの国民調査、患者調査、医師調査によって医療に関する意識やニーズを広く収集し、医療制度の議論に資するデータを日本医師会に蓄積することを目的としております。

これらのうち医師調査については、日医会員を全国から3,000名無作為に選ばせていただき、添付の調査票で調査を実施したいと考えております。

つきましては、貴会の会員の先生方へ調査票が送付されました折には是非ともご協力を賜りたく、ご理解のほどよろしくお願い申し上げます。

記

同封資料（参考）
①挨拶状
②調査実施要綱
③調査票
④返信用封筒（省略）

以上

理事会協議

18.2.20
4178

第２回 日本の医療に関する意識調査(医師調査)
実施要綱

１．調査の目的

厚生労働省の医療改革大綱が示され、多岐にわたる分野で見直しが進められる方向となっています。今後の医療全般のあり方については、受療側と提供側の要望をはっきりと提示していくことが必要で、そのためのデータが必要です。本調査は、平成 14 年度に実施した「第１回 医療に関する国民意識調査」を継続するもので、国民調査、患者調査、医師調査の 3 調査より医療に関する意識やニーズを広く収集し、日本医師会にデータを蓄積し、今後の医療政策の議論に資する資料作りを目的としております。

２．調査対象施設

医師調査を日本医師会員から層化無作為抽出した 3,000 人を対象に医師調査を行います。

３．調査項目

(1) 診療の現状や重点課題について
(2) かかりつけ医を中心とした地域連携について
(2) 医師患者関係や現在抱えるさまざまな課題について

４．締切日

本調査票は同封の返信用封筒にて、平成１８年３月１５日（水）迄にご投函お願いします。

５．秘密の厳守

本調査は日本医師会が実施するもので、得られたデータは日本医師会個人情報保護規程に則り厳守いたします。

６．お問い合わせ先

本調査に関するお問い合わせは、下記宛てにお願いいたします。

日本医師会総合政策研究機構（日医総研）江口または出口
TEL０３－３９４２－６４７２

「第２回 医療に関する意識調査(医師調査)」ご協力のお願い

謹啓

時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。平素は、日本医師会の活動にご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、政府の医療制度改革が進められるなか、日本医師会では提供側や受療側の要望をデータに基づいてはっきりと提示していくことが必要と考えております。平成 14 年度に「第 1 回医療に関する意識調査」を実施いたしましたが、本調査を継続して、医師、国民、患者の医療に関する意識やニーズを広く収集し、医療政策の議論を行うための基礎資料を蓄積したいと考えております。医師調査については、診療業務の現状や課題を捉え、さらに医療全般のあり方についてのお考えをお尋ねしたいと思います。本会会員の中から 3,000 名を無作為に抽出させていただきました。

アンケートの主旨をご理解いただき、ご多忙の折柄、誠にお手数ではございますが、本調査へのご協力を賜りたくお願い申し上げます。

謹白

平成十八年二月吉日

日 本 医 師 会 長
植 松 治 雄

第8347号

第2回　日本の医療に関する意識調査（医師調査）

この度は、ご多忙のなかご協力を有難うございます。本調査は、日本の医療に関する意識を、医師、国民、患者の三者から把握し、今後の医療政策立案のための基礎データを日本医師会に蓄積していくことを目的としております。

ご記入が終わりましたら、同封した返信用封筒にアンケート用紙を入れて、
3月15日（水）までにご投函くださるようお願いいたします。
なお、返信用封筒にお名前やご住所を記入していただく必要はありません。

この調査についてのお問い合わせは、下記へご連絡ください。

日本医師会総合政策研究機構（日医総研）
担当：江口・出口
電話：０３－３９４２－６４７２(直通)

■ はじめに、現在、働いておられる医療機関や勤務状況についておたずねします。
（※２つ以上の医療機関に勤務されている場合は、主なところ１つについてお答えください。）

問１．あなたの現在の業務は次のどれに該当しますか。（○は１つ）

1 病院の代表者（又は開設者）
2 病院の勤務医
3 診療所の代表者（又は開設者） ⑬
4 診療所の勤務医
5 その他（具体的に　　）

問２．病床数はいくつありますか。（○は１つ）

1 なし　3 10～19床　5 100～299床　7 500～999床 ⑭
2 1～9床　4 20～99床　6 300～499床　8 1,000床以上

問３．医療機関の開設者を次の中から選んでください。（○は１つ）

1 国
2 公的医療機関（都道府県、市町村、日赤など）
3 社会保険関係団体
4 医療法人 ⑮
5 その他の法人（公益法人、学校法人など）
6 個人
7 その他（具体的に　　）

問４．あなたが現在、担当されている主要な診療科名を次の中から１つ選んでください。

1	内科	7	眼科	
2	外科	8	皮膚科	
3	小児科	9	精神科	⑯
4	整形外科	10	神経科	⑰
5	産科・婦人科	11	泌尿器科	
6	耳鼻咽喉科	12	その他（具体的に　　）	

問５．あなたの１週間の平均診療時間はおよそどのくらいですか。（○は１つ）

1	10時間未満	5	40～50時間未満	9	80～90時間未満	
2	10～20時間未満	6	50～60時間未満	10	90～100時間未満	⑱
3	20～30時間未満	7	60～70時間未満	11	100時間以上	⑲
4	30～40時間未満	8	70～80時間未満			

問６．あなたの１週間の平均事務作業時間はおよそどのくらいですか。（○は１つ）

1	５時間未満	5	30～40時間未満	9	70～80時間未満	
2	５～10時間未満	6	40～50時間未満	10	80～90時間未満	⑳
3	10～20時間未満	7	50～60時間未満	11	90時間以上	
4	20～30時間未満	8	60～70時間未満			

問７．それでは、問５、問６でうかがった以外に、あなたが拘束されている勤務時間（オンコール、自宅待機などを含む）は１週間におよそどのくらいありますか。（○は１つ）

1	なし	4	10～20時間未満	7	40～50時間未満	
2	５時間未満	5	20～30時間未満	8	50時間以上	□
3	５～10時間未満	6	30～40時間未満			

問８．あなたは１週間に平均何人ぐらいの患者さんを診療しますか。
（「いない」場合「０」人とご記入ください。）

施設内で　　平均 [　　] 人／週　　□ ～□

在宅医療で　　平均 [　　] 人／週　　□ ～□

問９．あなたは過去１年に、医師会の生涯教育を何時間受けましたか。
（受けなかった場合は「０」時間とご記入ください。）

約 [　　] 時間　　□ ～□

■ 現在、医療機関の機能分化の方向性が打ち出され、「かかりつけ医」を中心とした医療連携の議論が行われています。かかりつけ医機能についてあなたのご意見をおたずねします。

問 10. あなたは次のような医療サービスを行っていますか。(○はいくつでも)

1 健康に関するさまざまな相談にのる
2 健診や検診の実施
3 禁煙指導
4 肥満予防の指導
5 その他の生活習慣病予防の指導
6 夜間・休日の受け入れ
7 夜間・休日の電話相談
8 他の医師との協力による 24 時間受け入れ体制
9 往診
10 訪問診療
11 うつ病などを含む心の病気のカウンセリング
12 ターミナルケア、緩和ケア
13 病院退院後の受け皿(亜急性ケア) □
14 開放型病床の利用 □
15 主治医意見書の記入
16 ケアカンファレンスへの参加
17 死亡診断書の記入
18 その他 (具体的に)

問 11. あなたは、かかりつけ医を中心とした地域連携を、今後、より充実させるために次の(1)～(12)について、どれを優先的に進めるべきだと思いますか。(○はそれぞれ 1 つずつ)

	非常に重要	重要	どちらともいえない	あまり重要でない	全く重要でない	
(1) 医師や医療機関が返送や逆紹介を適切に行う	5	4	3	2	1	□
(2) 医師や医療機関に関する情報を広く提供する	5	4	3	2	1	□
(3) かかりつけ医の専門性を高めて一次医療を充実させる	5	4	3	2	1	□
(4) かかりつけ医が臨床技術を向上しやすい仕組みや制度を作る	5	4	3	2	1	□
(5) 住民や患者に一次医療やかかりつけ医の機能についての啓発や普及活動を行う	5	4	3	2	1	□
(6) かかりつけ医の不在をカバーする 24 時間体制の仕組みをつくる	5	4	3	2	1	□
(7) 診療所や病院の医師のレベルアップや共通理解のための地域での研修会	5	4	3	2	1	□
(8) 診療所と病院が患者情報を共有できる仕組みを作る	5	4	3	2	1	□
(9) 開放型病床や登録医の制度を広げる	5	4	3	2	1	□
(10) 在宅医療や緩和医療などの専門分野の臨床能力を高める仕組みをつくる	5	4	3	2	1	□

	非常に重要	重要	どちらともいえない	あまり重要でない	全く重要でない	
(11) 医療機関の地域医療連携室の充実をはかる →	5	4	3	2	1	□
(12) 後方支援施設の医療の充実を行う（診療科の拡充、専門性の強化など）→	5	4	3	2	1	□

付問. 問 11 で伺った（1）～（12）以外に必要だと思うことがありましたら、ご記入ください。

□

問 12. それでは、あなたの地域では、地域連携におけるかかりつけ医機能は適切に機能していると思いますか。（○は 1 つ）

5	4	3	2	1	
機能している	まあ機能している	どちらともいえない	あまり機能していない	機能していない	□

→（問 13 へお進みください）

付問. 必ずしも機能していない大きな原因は何だと思われますか。（○は 3 つまで）

1 医師や医療機関に関する情報の不足
2 医師の間で連携やかかりつけ医機能に関する認識の不足
3 住民や患者の大病院志向やかかりつけ医機能への理解不足 □
4 臨床能力やコミュニケーション能力の不足
5 医師の間で患者情報の共有ができていない
6 その他（具体的に ）

■ 診療の場における患者さんとの対話や、提供している医療についておたずねします。

問 13. あなたは、患者との対話や説明が十分に行えていると思いますか。(○は 1 つ)

4	3	2	1	
十分にしている と思う	十分ではないが、 している と思う	あまりしていない と思う	ほとんどしていない と思う	

問 14. 患者一人ひとりの性格や状態、本人の希望を尊重する患者本位の医療についてお伺いします。あなたは、患者の個別状況を重視した医療を行っていると思いますか。(○は 1 つ)

4	3	2	1	
十分に行っている	少し行っている	あまり行っていない	全く行っていない	

■ 医療の安全性についておたずねします。

問 15. 医療事故が、最近いろいろと取りざたされていますが、あなたは日本の医療機関の安全性をどう思いますか。(○は 1 つ)

4	3	2	1	
安全だと思う	まあ 安全だと思う	あまり 安全とは思わない	安全とは 思わない	

問 16. あなたの医療機関では、医療事故が 10 年前と比べて増えていると思いますか、減っていると思いますか。(○は 1 つ)

4	3	2	1	
増えている	変わらない・ 10 年前と同じ	減っている	わからない・ 実感がない	

問 17. それでは、全国的には、医療事故が 10 年前と比べて増えていると思いますか、減っていると思いますか。(○は 1 つ)

4	3	2	1	
増えている	変わらない・ 10 年前と同じ	減っている	わからない・ 実感がない	

■ 医療におけるIT化（電子カルテやレセプト電算化などの情報システム化）についておたずねします。

問18. あなたの施設で医療ＩＴの促進の妨げになっていることがあるとすれば次のどれでしょうか。（○はいくつでも）

1 ＩＴに必要な資金が不足
2 製品の性能や機能が不十分
3 ＩＴ化に必要な要員が不足
4 ＩＴによる効果の定量化が困難
5 リーダーシップの不在、経営トップの理解不足 □
6 医療スタッフや事務スタッフなどの合意が得られない □
7 データの標準化が行われていない、システムの互換性がない
8 データの機密保護が不十分
9 ＩＴ化による悪影響への懸念（患者医師関係を悪化させるなど）
10 その他（具体的に ）
11 特にない

■ 医療の現状についておたずねします。

問19. あなたの施設には次のような課題がありますか。ここにあげる(1)から(7)のそれぞれついてお答えください。（○はそれぞれ１つずつ）

	問題である	やや問題である	どちらともいえない	あまり問題ではない	問題ではない	
(1) 入院患者の減少	5	4	3	2	1	□
(2) 外来患者の減少	5	4	3	2	1	□
(3) 診療報酬の減額	5	4	3	2	1	□
(4) 医師の確保	5	4	3	2	1	□
(5) 看護師の確保	5	4	3	2	1	□
(6) 資金調達	5	4	3	2	1	□
(7) 借金の返済	5	4	3	2	1	□

問 20. 次にあげる（1）～（10）について、あなたのお気持ちをお聞かせください。

（○はそれぞれ1つずつ）

	そう思う	ややそう思う	どちらともいえない	あまりそう思わない	そう思わない
(1) よい医療を提供しても評価されないと思うことがある	5	4	3	2	1
(2) 過労のためによい医療ができていないと思うことがある	5	4	3	2	1
(3) 多忙のあまりストレスが高くなることがある	5	4	3	2	1
(4) 患者が多すぎて患者の診療に十分な時間が取れない	5	4	3	2	1
(5) コメディカルの役割を変革して医師の作業の一部を分担することも検討すべきだ	5	4	3	2	1
(6) 地域の医師のネットワークに参加したい	5	4	3	2	1
(7) 新しい知識や技術を得るための時間や機会を得たい	5	4	3	2	1
(8) かかりつけ医として包括的に患者を診るために専門以外の知識も多少得たい	5	4	3	2	1
(9) 説明に対して患者が理解できたかどうか不安になることがある	5	4	3	2	1
(10) 患者や国民が求める治療の中味に関する情報をもっと公開すべきだ	5	4	3	2	1

■ 今後の医療についておたずねします。

問 21. あなたがよりよい医療を実践していくには、どのような改革や環境整備が必要だと思いますか。次の中から選んでください。（○はいくつでも）

1 診療報酬の増額
2 医療行為以外の業務の軽減
3 医師を援助する専門技術者（コメディカルスタッフ）の増員
4 自院の医師の増員
5 組織の体制や病院の管理体制の見直し
6 教育や研修の強化
7 診療報酬支払い制度の効率化
8 コメディカルスタッフの業務分担の強化
9 国民の医療（医師・医療機関）への不信をなくし、国民と医師の信頼関係を向上させる
10 その他（具体的に　　）
11 特にない

問 22. あなたは、今後の医療提供体制において重点を置くべき点はどのようなことだと思いますか。(○はいくつでも)

1 夜間や休日の診療や救急医療体制の整備
2 高齢者などが長期入院するための入院施設や介護老人保健施設の整備
3 医療従事者の資質（診療能力や対話能力など）の向上
4 心のケアや心の健康を保つための医療の整備
5 地域の診療所と病院の連携 □
6 訪問診療やホームヘルパー派遣など在宅医療の整備
7 遺伝子治療などの先進医療の促進
8 医療従事者の確保
9 施設の環境整備や管理体制の強化
10 その他（具体的に ）

問 23. あなたは、医療保険のあり方について、この中の（A)、(B）２つの意見のうち、どちらに賛成しますか。(○は１つ)

A．現在のように所得の高い低いに関係なく、国民みんなが同じレベルの医療を受けられる仕組みがよい
B．お金を払える所得の高い人は追加料金を払えば、保険で給付される以上の医療を受けられる仕組みがよい

□

5	4	3	2	1
Aの意見に賛成である	どちらかといえばAの意見に賛成である	Aの意見とBの意見の中間である	どちらかといえばBの意見に賛成である	Bの意見に賛成である

■ **統計的に分析するために、あなたご自身のことを少しうかがわせてください。**

問 24. あなたの性別は。

1	2	
男 性	女 性	□

問 25. あなたのお年は満で何歳ですか。

□□ 歳 □□

問 26. あなたは現在の業務形態につかれて何年になりますか。

□□ 年 □□

長時間ご協力ありがとうございました。返信用の封筒に入れて、ご投函下さい。